

地域との連帯を深め 講演会や坂本城の研究 とガイド実施

坂本城

坂本城を考
える会会報

発行責任者
藤本 一也
大津市雄琴
2丁目9-22



第十一回総会 が開催される

平成二九年五月十四日
(日)、下阪本市民センター
において、山本克也幹事の
司会で、林副会長を議長に
選出して、第十一回総会が

会員三四名の参加のもと開
催された。
総会では河村会長のユニ
クな挨拶で笑いを誘い、和
やかな雰囲気のもと、二八
年度事業報告と決算報告、
二九年度事業計画と予算案
及び役員案が提案され、議
案のすべてが承認された。

平成二八年度 事業報告

1. 観光ガイド
○役員で当番を設け、坂本
城址公園に駐在し、年間四
○回数度実施 ○浜松市の
団体三六名を始め、約三〇
○名のガイドを実施、見学
者から礼状をいただくなど、
好評であった。
2. 勉強会の実施
○毎月一回役員会を行い、
坂本城に関する研修を行う。
○講演会の実施 (五月・十
一月) ○研修旅行の実施
(彦根城)
3. 地域との連携を深める
講演会を、下阪本文化祭開
連行事として実施。
4. その他の活動

○坂本城址公園の
清掃活動を実施
○会報ニュースを
発行

平成二九年 度事業計画

1. 下阪本地区と
の連携を強化し、
行事に積極的に参
加する。○下阪本
学区文化協会に後
援を依頼して講演
会の実施。
2. 土、日、休日
の公園ガイド(個
人・団体)を実施する。○
坂本城址公園の清掃活動を
実施
3. 調査と勉強会
○研修旅行の実施。
4. 従来からの業務は継続
して実施。

平成二九年度役員

会 長 河村益孝
副 会 長 林 宏
幹事事務局 山本 正史
幹事 会計 渡辺 豊



幹事 広報 藤本一也
幹事 梶原大義・恒岡善博・
山本克也・森 茂樹・上寫
登・木谷昭朗
監事 成宮律子・奥村多栄
子
顧問 中井 均(滋賀県立
大)・木村至宏(前成安造
形大学長)・馬淵直樹(日
吉大社宮司)・村田省三
(元市産業観光部長)・吉
水眞彦(市教委文化財保護
課)
幹事退任 並木益雄 中田
安子



信長の天下統一に伴う騒乱である。その中で「志賀の陣」とは浅井・朝倉と戦う一方、大阪本願寺、湖南一向一揆などとの戦いで、信長にとって四面楚歌・最大の危機であった。しかし反信長勢力が連携していたわけではなく個々の対応であった。



坂本城は光秀の死後、明智秀満により焼かれたが（天正一〇年）、丹羽長

秀により再建され、城主は杉原家次、浅野長吉と代わったが、その後廃城となり浜大津の大津城へと移築された（天正一四年）。坂本城が大津城に移築された理由は、天正十二年の山門復活による監視機能の低下、東海道・淀川水運の整備による大津への中心機能の移転、織田氏の天下終焉、豊臣氏の天下成立に伴う近江における織田氏の払拭（安土城廃城、新たな拠点城郭の整備）一佐和山城・水口岡山城などの築城と連動した坂本城⇒大津城のためであった。（文責 森 茂樹）

総会に引き続き、演題「戦国の近江 滋賀の陣、比叡山焼き討ちと坂本城築城」として、滋賀県教育委員会文化財保護課の松下浩氏の記念講演が行われた。

六二名の参加者が聴講した。「元龜争乱」とは、信長と近江諸勢力との戦いであり、具体的には信長による越前侵攻（元龜元年）から足利義昭の追放（元龜4年）までの

記念講演
滋賀の陣・信長最大の危機
松下浩 県教委文化財保護課

講演の趣旨

又信長と延暦寺とは本来敵対する関係ではなかったが、「志賀の陣」で延暦寺が浅井・朝倉軍を比叡山の山々に布陣させた事で敵対関係となった。そしてこの後、信長と各勢力との戦いが続き、朝廷及び足利義昭の仲介による

あり、交通・流通の要衝（西近江路港）であったためである。



坂本城

「信長と浅井・朝倉との」講和などが行われた。信長は比叡山焼き討ち後光秀に命じて坂本城を築かせたが、築城理由は、坂本（下坂本）が延暦寺の門前に

段、湖中石垣、石組溝、井戸、大型礎石建物Ⅱ城主または上級家臣の屋敷Ⅱなどと、遺物としての瓦Ⅱ伝本丸付近からの出土Ⅱなどがある。



坂本城の発掘調査の必要性 水で結ぶ観光開発 三日月、滋賀県知事表明

六月三十日（金）、滋賀県議会にて、「坂本城の発掘調査の必要性」に関する質問が、地方創生特別委員長の目片信悟議員より行われた。

質問の要旨は、「滋賀の活性化の一つとして地域の歴史素材の活用を行うべきで、その中で坂本城は日本で最

初に築かれた城としてその後の城々に大きな影響を与えた城であり、坂本城一安土城一長浜城などを結んでの観光資源のランドマークとしての坂本城の活用が可能と思われる。坂本城はまだ現在発掘も十分に行われておらず、湖中の探索も滋賀県

立大学の立井均教授により行われつつあるところで、また天主跡は民間施設内にあることから今後の保護も必要であり、観光案内としての説明板も不足している。これらから、滋賀県として坂本城の歴史遺産としての

活用を進めて欲しい」との質問であった。それに対する知事の答弁は、「水を中心とした、ストーリーで結ぶ観光資源の開発を考えており、文化財保護の立場を前提に、歴史遺産の観点から、ガイドブックの作成や坂本城を題材とした講座や探訪を開催するなど、様々な取組を通じて情報発信に努めたい」との返答であった。

沖に当たる水中、②その少し北側の水中、③その少し南側の水中の三ヶ所で、目視と写真撮影での探索が行われた。その結果、「①からは瓦や土器と思われる遺物の②からはたくさんの小石が、③からは石垣の石かもしれない大きな石とその裏込め石と思われる石が多く発見され、これらの石

坂本城湖中遺跡の探索 琵琶湖放送で放映 更なる調査・研究が必要

七月一日、琵琶湖放送の周年記念番組として、滋賀県立大学考古学教室の中井均教授および中川先生による「坂本城の本丸沖の湖中遺跡の探索」が琵琶湖放送で約二〇分間放映された。水中探査された場所は、現在石垣と胴木が水中に残されている本丸跡の、①少し

しれないが確定できず、今後の更なる調査・研究が必要であろう」との結論であった。この③に認められた水中の大きな石については、東南寺川河口にも近く、地元の研究である津田幸種氏により「東南寺川護岸地下の石垣」と指摘されているも



は南北に連なっているようでもあり、石垣の石かものとの関連もあり、今回の調査も含めて、更なる調査・研究が必要と思われる。



（文責 梶原大義）



10月17日(火)

JR 比叡山坂本駅 8:00 出発
JR 大津駅(裁判所前) 8:25 出発

日程:コース JR 比叡山坂本駅前 8:00==JR 大津駅(裁判所前)8:25==大津IC==<名神・近畿・阪和>==和歌山IC==和歌山城(見学・散策)10:40~12:20==丸長和歌山インナー店(昼食)12:35~13:20==<阪和・湾岸線>岸和田南 IC==岸和田城(見学・散策)14:20~15:30==<阪和・近畿・名神>=JR 大津駅17:05頃==JR 比叡山坂本駅17:30頃

昼食付!!

参加者募集

先着25人

お1人 **6,000**円

申込み・問合せ先

大津市下阪本1丁目27-26
坂本城を考える会
事務局 山本 正史
090-1671-1236



海鮮問屋の豪華な丸長御前

会費納入のお願い

■平成29年度会費
1,200円を、未だ納入されていない会員は、郵便振替で至急納入願います。

現金でも結構です。払込取扱票が必要な方は連絡頂ければ送ります。

- 口座番号
00940-8-193042
- 加入者名
坂本城を考える会
- 他の金融機関から
店番 468-
普通預金 0954399
- 520-0113
大津市坂本3-17-61
渡辺 豊
TEL077-578-4607
090-7348-1083

会員募集にご協力を!

ご紹介いただければ、会の説明に伺います

会長 河村 益孝
070-5507-7350
事務局 山本 正史
090-1671-1236

(仮称)「日吉大社と下阪本の歴史」講演会

とき **11月18日(土)**
14:00~16:00

ところ **下阪本市民センター3階**

講師 **日吉大社権宮司 井口 健氏**

<下阪本学区文化祭関連事業>

坂本城址公園の清掃活動に参加を!

とき **10月14日(土)**
9:00~10:00

ところ **坂本城址公園集合**
その他 用具類は準備しますので、軍手など清掃活動のできる服装で参加してください